

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)

【公表番号】特表 2019-526975 (P2019-526975A)

【公表日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報 2019-038

【出願番号】特願 2019-508918 (P2019-508918)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 L 27/26 (2006.01)

【F I】

H 0 4 W 72/04 1 3 2

H 0 4 L 27/26 4 2 0

H 0 4 L 27/26 1 1 4

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信システムにおいて、周波数帯域で動作する端末が、下りリンク共通チャネル (DownLink Common CHannel ; D L - C C H ) を受信する方法であって、

( i ) プライマリ同期信号 ( Primary Synchronization Signal ; P S S )、( ii ) セカ  
ンダリ同期信号 ( Secondary Synchronization Signal ; S S S ) 及び ( iii ) 物理ブロー  
ドキャストチャネル ( Physical Broadcasting CHannel ; P B C H ) を有する同期信号ブ  
ロック ( Synchronization Signal Block ; S S B ) を受信し、

( i ) 前記 P B C H を介して獲得される 1 ビット情報及び ( ii ) 前記端末が動作する前  
記周波数帯域に基づいて、前記 D L - C C H の副搬送波間隔を決定し、

前記副搬送波間隔に基づいて、前記 D L - C C H を受信する、ことを有し、

第 1 の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記 1 ビット情  
報に基づいて、第 1 の副搬送波間隔又は第 2 の副搬送波間隔の 1 つとして決定され、

第 2 の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記 1 ビット情  
報に基づいて、第 3 の副搬送波間隔又は第 4 の副搬送波間隔の 1 つとして決定される、D  
L - C C H の受信方法。

【請求項 2】

前記 1 ビット情報は、第 1 のバイナリ値又は第 2 のバイナリ値のいずれかであり、

前記第 1 のバイナリ値と等しい前記 1 ビット情報に対して、前記副搬送波間隔は、前記  
周波数帯域が前記第 1 の周波数領域内であるか又は前記第 2 の周波数領域内であるかによ  
って、前記第 1 の副搬送波間隔又は前記第 3 の副搬送波間隔として決定され、

前記第 2 のバイナリ値と等しい前記 1 ビット情報に対して、前記副搬送波間隔は、前記  
周波数帯域が前記第 1 の周波数領域内であるか又は前記第 2 の周波数領域内であるかによ  
って、前記第 2 の副搬送波間隔又は前記第 4 の副搬送波間隔として決定される、請求項 1  
に記載の D L - C C H の受信方法。

【請求項 3】

前記第 1 の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記 1 ビッ

ト情報に基づいて、60kHz又は120kHzの1つとして決定される、請求項1に記載のDL-CCHの受信方法。

【請求項4】

前記第2の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記1ビット情報に基づいて、15kHz又は30kHzの1つとして決定される、請求項1に記載のDL-CCHの受信方法。

【請求項5】

前記DL-CCHは、システム情報及び初期アクセスのためのDLメッセージのうちの少なくとも1つを搬送するよう構成される、請求項1に記載のDL-CCHの受信方法。

【請求項6】

前記システム情報の副搬送波間隔は、前記初期アクセスのためのDLメッセージの副搬送波間隔と等しい、請求項5に記載のDL-CCHの受信方法。

【請求項7】

無線通信システムにおいて、周波数帯域で下りリンク共通チャネル(DownLink Common CHannel; DL-CCH)を受信するよう構成された端末であって、

トランシーバ(Transceiver)と、

少なくとも1つのプロセッサと、

前記少なくとも1つのプロセッサと動作可能に接続でき、指示を記憶する、少なくとも1つのコンピュータメモリと、を有し、

前記指示は、実行されたとき、前記少なくとも1つのプロセッサに、

前記トランシーバを介して、(i)プライマリ同期信号(Primary Synchronization Signal; PSS)、(ii)セカンダリ同期信号(Secundary Synchronization Signal; SSS)及び(iii)物理ブロードキャストチャネル(Physical Broadcasting CHannel; PBCH)を有する同期信号ブロック(Synchronization Signal Block; SSB)を受信し、

(i)前記PBCHを介して獲得される1ビット情報及び(ii)前記端末が動作する前記周波数帯域に基づいて、前記DL-CCHの副搬送波間隔を決定し、

前記トランシーバを介して、前記副搬送波間隔に基づいて、前記DL-CCHを受信する、ことを有する動作を行わせ、

第1の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記1ビット情報に基づいて、第1の副搬送波間隔又は第2の副搬送波間隔の1つとして決定され、

第2の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記1ビット情報に基づいて、第3の副搬送波間隔又は第4の副搬送波間隔の1つとして決定される、端末。

【請求項8】

前記1ビット情報は、第1のバイナリ値又は第2のバイナリ値のいずれかであり、

前記第1のバイナリ値と等しい前記1ビット情報に対して、前記副搬送波間隔は、前記周波数帯域が前記第1の周波数領域内であるか又は前記第2の周波数領域内であるかによって、前記第1の副搬送波間隔又は前記第3の副搬送波間隔として決定され、

前記第2のバイナリ値と等しい前記1ビット情報に対して、前記副搬送波間隔は、前記周波数帯域が前記第1の周波数領域内であるか又は前記第2の周波数領域内であるかによって、前記第2の副搬送波間隔又は前記第4の副搬送波間隔として決定される、請求項7に記載の端末。

【請求項9】

前記第1の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記1ビット情報に基づいて、60kHz又は120kHzの1つとして決定される、請求項7に記載の端末。

【請求項10】

前記第2の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記1ビット情報に基づいて、15kHz又は30kHzの1つとして決定される、請求項7に記載の端末。

**【請求項 1 1】**

前記 DL - CCH は、システム情報及び初期アクセスのための DL メッセージのうちの少なくとも 1 つを搬送するよう構成される、請求項 7 に記載の端末。

**【請求項 1 2】**

前記システム情報の副搬送波間隔は、前記初期アクセスのための DL メッセージの副搬送波間隔と等しい、請求項 1 1 に記載の端末。

**【請求項 1 3】**

無線通信システムにおいて、基地局が、周波数帯域で、端末に、下りリンク共通チャネル (DownLink Common CHannel ; DL - CCH) を送信する方法であって、

(i) プライマリ同期信号 (Primary Synchronization Signal ; PSS)、(ii) セカンダリ同期信号 (Secondary Synchronization Signal ; SSS) 及び (iii) 物理ブロードキャストチャネル (Physical Broadcasting CHannel ; PBCH) を有する同期信号ブロック (Synchronization Signal Block ; SSB) を送信し、

(i) 前記 PBCH を介して送信される 1 ビット情報及び (ii) 前記端末が動作する前記周波数帯域に関連する副搬送波間隔に基づいて、前記 DL - CCH を送信する、ことを有し、

第 1 の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記 1 ビット情報に基づいて、第 1 の副搬送波間隔又は第 2 の副搬送波間隔の 1 つであり、

第 2 の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記 1 ビット情報に基づいて、第 3 の副搬送波間隔又は第 4 の副搬送波間隔の 1 つである、DL - CCH の送信方法。

**【請求項 1 4】**

無線通信システムにおいて、周波数帯域で、端末に、下りリンク共通チャネル (DownLink Common CHannel ; DL - CCH) を送信するよう構成された基地局であって、

トランシーバ (Transceiver) と、

少なくとも 1 つのプロセッサと、

前記少なくとも 1 つのプロセッサと動作可能に接続でき、指示を記憶する、少なくとも 1 つのコンピュータメモリと、を有し、

前記指示は、実行されたとき、前記少なくとも 1 つのプロセッサに、

前記トランシーバを介して、(i) プライマリ同期信号 (Primary Synchronization Signal ; PSS)、(ii) セカンダリ同期信号 (Secondary Synchronization Signal ; SSS) 及び (iii) 物理ブロードキャストチャネル (Physical Broadcasting CHannel ; PBCH) を有する同期信号ブロック (Synchronization Signal Block ; SSB) を送信し、

前記トランシーバを介して、(i) 前記 PBCH を介して送信される 1 ビット情報及び (ii) 前記端末が動作する前記周波数帯域に関連する副搬送波間隔に基づいて、前記 DL - CCH を送信する、ことを有する動作を行わせ、

第 1 の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記 1 ビット情報に基づいて、第 1 の副搬送波間隔又は第 2 の副搬送波間隔の 1 つであり、

第 2 の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、前記副搬送波間隔は、前記 1 ビット情報に基づいて、第 3 の副搬送波間隔又は第 4 の副搬送波間隔の 1 つである、基地局。

**【請求項 1 5】**

前記 DL - CCH によって搬送される前記システム情報は、残りの最小システム情報 (Remaining Minimum System Information ; RMSI) である、請求項 5 に記載の DL - CCH の受信方法。

**【請求項 1 6】**

前記第 1 の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、

前記副搬送波間隔は、第 1 のバイナリ値である前記 1 ビット情報に基づいて、前記第 1 の副搬送波間隔であり、

前記副搬送波間隔は、第 2 のバイナリ値である前記 1 ビット情報に基づいて、前記第 2 の副搬送波間隔であり、

前記第 2 の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、

前記副搬送波間隔は、前記第 1 のバイナリ値である前記 1 ビット情報に基づいて、前記第 3 の副搬送波間隔であり、

前記副搬送波間隔は、前記第 2 のバイナリ値である前記 1 ビット情報に基づいて、前記第 4 の副搬送波間隔である、請求項 1 に記載の D L - C C H の受信方法。

【請求項 17】

前記第 1 の周波数領域は、前記第 2 の周波数領域より高い周波数である、請求項 1 に記載の D L - C C H の受信方法。

【請求項 18】

前記 D L - C C H によって搬送される前記システム情報は、残りの最小システム情報 ( Remaining Minimum System Information ; R M S I ) である、請求項 11 に記載の端末。

【請求項 19】

前記第 1 の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、

前記副搬送波間隔は、第 1 のバイナリ値である前記 1 ビット情報に基づいて、前記第 1 の副搬送波間隔であり、

前記副搬送波間隔は、第 2 のバイナリ値である前記 1 ビット情報に基づいて、前記第 2 の副搬送波間隔であり、

前記第 2 の周波数領域内の前記周波数帯域に対して、

前記副搬送波間隔は、前記第 1 のバイナリ値である前記 1 ビット情報に基づいて、前記第 3 の副搬送波間隔であり、

前記副搬送波間隔は、前記第 2 のバイナリ値である前記 1 ビット情報に基づいて、前記第 4 の副搬送波間隔である、請求項 7 に記載の端末。

【請求項 20】

前記第 1 の周波数領域は、前記第 2 の周波数領域より高い周波数である、請求項 7 に記載の端末。